



「笑いが本物」の幼稚園時代

いろいろな笑いがあさけれど 子どもたちと
幼い頃の話をしている時が一番いい。
ばかり笑える。互いの表情が生き生きしている。
笑いが本物でそこから幸福を実感する。」

と話をした下、たのけ 6月末に結婚した幸直は

G君のお父さん
結婚式を2かえたあの日 家族で(4人)で食卓を
かこみながら幼稚園時代のことに花が咲いた。
大人の二人が結婚し子どもが生まれ、父と母と母と母と
幼い我が子とむきあっていた。正直 手さぐりで子育てを
していた。妻の話を耳をかたむけ、子どもを見て、口論
にもなり、ドタバタと日が過ぎた。
幼稚園に入園した頃から子どもの成長が目に見え
物で伝わってきた。子育ての楽しさと幼稚園の行事が
教えてくれた。うんどう会 2人の子どもで9回経験
したけれど いつかそこには真剣さと笑いとほげの
痕れがあった。我が子の結婚を我にみれば出
から気づかされた事。

家族の一番大変な子育ての日 新所沢幼稚園に出会えたよからと

子どもたちも私の日は？ 1日だけの日は？ と 当日を
ふりかえりながら目をまじらした。
サァ、子どもたちよ？ 次は本物の笑顔と求め？ どんな子育てをするのか？
ちっと早いけれど こんど気持ちにほりました。」

No.97
園長通信
しんとう
信
当眞昭子
子
H30.8月



幸直は20年、我が子を結婚させて幸直は
気がたるとあしきまらした。
今も子どもたち一人ひとりにマークがありまらか？
娘と息子 二人で自分の子供のマークの事で
ワイワイがわわわ 大笑い。それを見る夫婦も笑顔。
小さなマーク ひとりで こんどに幸福にたれま
なんでも しんととバとガーイと
明るい声と表小唄で話すG君ババ
それを聞く私も笑顔に。



「幸直生らば、成長と共にけずかしくたたり
する時が必ずくる。そんな時でもふと気づくと
連絡帖を読んでいる」という話をよくきく。
自分の幼稚園時代、先生と父母がやりとりして
いた連絡帖。
その時は読めなかつた連絡帖が……
思春期になり、結婚する時、自分が子育てを
する時、何となくモヤモヤしている時……
読みかえすと、「こんどに子わりから愛されてた
幼児期」といのが自分に勇気とくれる。」と。
親にうらと、こも「いふとまかひは」困ったと思つた時
連絡帖をひらくと、一所けん命子育てをした時が
よみがえりて……(点滅は次号)